秋の交流バスハイキング

期　日　　**11月10日（日）　日帰り**　　**晴れ**

集合　三郷駅北口　6:00　南浦和駅西口　6:45

場　所　　**西上州・黒滝山　観音岩(870m)～不動寺**

主催　埼玉県勤労者山岳連盟　南部ブロック協議会

埼玉県勤労者山岳連盟　南部ブロック協議会　主催

西上州・黒滝山 観音岩(870m)～不動寺

秋の交流バスハイキング報告

期　日　　１１月１０日（日）　日帰り　　晴れ
　　集合　三郷駅北口　6:00　　南浦和駅西口　6:45
場　所　　西上州・黒滝山 観音岩(870m)～不動寺

参加費　　５，０００円
参加者　　三郷山の会（８）　わらび山の会（８）　紫翠山岳会（１）あすなろ山岳会（１）
　　くまざさ山岳会（１）　日進山の会（１）　北本山の会（１）　　合計　２１名

【記録】
いち早く日程等を決定し準備を進めてきたが、１０月の相次ぐ台風の局地的豪雨や土砂崩れ等の災害の影響により、各地でコースが荒らされ橋が流されたりで、予定を中止したり変更を余儀なくされるケースが多かった中で、幸いにも西上州の黒滝山のある南牧村に問い合わせした限りでは、黒滝山周辺の道路状況やハイキングコースについて悪い情報は入っていないとの事で、中止する事なく実施に踏み切る事にした。（ちなみに、同日に南牧村で予定されていた黒滝山を含む７コースの「群馬県民ハイク」は中止だった。）

九十九谷登山口駐車場で

　三郷をいつもの６時に出発し、南浦和駅では７時に出発！　天気は絶好のハイキング日和とあって、外環道からは丹沢～赤城山に至るまでの山並が青空に映えて美しい！
　関越高速道に入っても、懐かしい山々が次々に見渡せ、飽きることなく下仁田ＩＣを下りる。
　下仁田ＩＣから登山口のある上底瀬集落の駐車場に入るべく、南牧村役場を過ぎて、六車大橋を渡り山間の狭い車道を奥に入る。
下底瀬集落付近まで来ると、見覚えのある鷹ノ巣山の大岩壁が見え出すが、今回はコースを変更して駐車場のある九十九谷登山口から登る事にした。
　駐車場で準備体操を済ませ、各班毎に簡単に班員の紹介をしてさっそく出発！
登山口は沢沿いの小さな水場から左斜面に入って行く。最初から少し急でいったん沢床に下りて、また反対側の急な斜面をジグザグに登り出す。結構きつい！
　喘いで汗が流れ落ちる頃に、やがて明るい尾根上の鷹ノ巣山の分岐に着いた！ここまで３０分。いいアルバイトで、体慣らしが出来たか？
ここから鷹ノ巣山までは５分足らず、せっかくなので荷物を置いて皆で登る事に！
鷹ノ巣山は下から見ると絶壁状の険しい岩山だが、辿ると山頂は尾根上の小さな狭いピークで、山頂標識板があるだけで、遠くに黒滝山やこれから登る五老峰・観音岩の尾根が見えるだけで、展望は今一つ。それぞれに小さな山頂標識板を背に写真に収まる。

2班の皆さん

九十九谷登山口で

3班の皆さん

急斜面の登り

3班の皆さん　　鷹ノ巣山分岐で　　3班　　鷹ノ巣山で　　2班

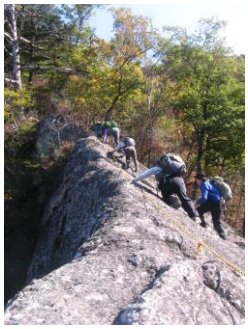
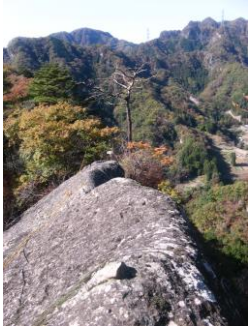
鷹ノ巣山から黒滝山　　観音岩　　1班の皆さん　　分岐に戻り

分岐からはいよいよ左が切れ落ちていて、真下の上底瀬集落や奥に毛無岩や荒船山方面の山々、そして白い岩肌の九十九谷の岩壁と対比して少し色彩いて来た紅葉の尾根を眺めながら岩尾根を登る事になる。核心部一つ、リッジで一枚岩の岩稜の乗越では下部の巻道もあるが、岩上はロープも張られているが左が切れ落ちているので少し緊張するが、腹這になりながらもみんな楽しんで登っていた。

　ここを過ぎれば、あとは尾根上の分岐まで這い上がるのみだが、途中　元気に華やかに？下ってくる中高年登山者の団体に出会った。見るからにこちらよりもはるかに高齢の方々で、先行の班から後続は少し遅れているので下ってもいいと言われたらしく、２０名以上が通り過ぎるのを待つ！

　この登りを終えると少し緩やかになり、尾根上の九十九谷と観音岩の分岐に着く

色彩やかな紅葉の尾根道で　　第1のハイライト　リッジ状の一枚岩の岩場の登りで

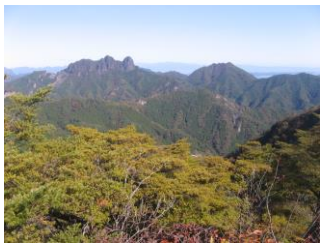
切れ落ちている尾根　　岩場の登りで　　背後荷は大屋山

黒滝山山頂方面　　リンドウ

一枚岩の登り　　上底瀬集落

岩尾根の登り　　九十九谷とトヤ山・毛無岩方面　　右：物語山　　鹿岳

五老峰・観音岩山頂で　2班　　3班　　1班



四ッ又山～鹿岳　　観音岩山頂で　　観音様　　妙義山をバックに

観音岩山頂の岩窟　後は稲含山　　黒滝不動寺と仏岩山

観音岩基部の観音様

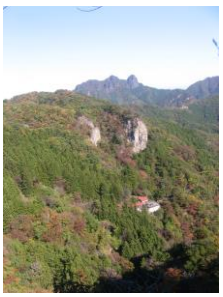
観音岩分岐から

ザックを置いて、次のハイライト「五老峰・観音岩」を往復する事にした。
分岐から南へ少し下って、また登り返すと観音岩で、岩場の基部には数体の観音様が安置されている。この岩上にロープを伝い登れば「五老峰・観音岩」山頂だが、テラスのある傾斜した岩場は狭く、交代で登り写真を撮る事にした。３班と２班がまず先行！

岩上に観音様が一体祀られていて、すこぶる見晴らしがいい。見覚えのある西上州の山々が並ぶ。観音様の向こうに四ッ又山～鹿岳、その左奥には妙義の山々、そして黒滝山から毛無岩に続く荒船山と長野県境稜線、手前には立岩・大屋山・碧岩等の岩峰、南東には下仁田近くの大桁山や小沢岳・稲含岳も遠望出来る。

飽きる事のない展望に満足して、各班の記念写真を撮り、交代の為に下山するも１班の何人かは諦めて分岐に戻ったようだ。

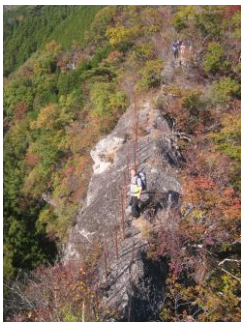
見晴台で


黒滝不動寺

馬の背手前の鎖場

垂直な鉄梯子

馬の背への下りで


馬の背のやせ尾根

馬の背のやせ尾根を慎重に慎重に下る

観音岩から先ほどの九十九谷分岐に戻り、いよいよ核心部の見晴台から馬の背の岩稜の下り！
ここで、安全の為に皆で簡易ハーネスを作り、装着。分岐から見晴台のある岩場の下をトラバースぎみに通過し、見晴台分岐に出て、私達二人だけピストン！見晴台は九十九谷に突き出た岩峰で、岩峰上に登る勇気はなく、引き返した。
案の定、鎖場と垂直な梯子のある場所の上で順番待ちしており、安全の為にザイルをフィックスしていただいた。一人ずつ慎重に最初の梯子と次の岩場の鎖場を過ぎて、次に垂直の鉄梯子を下る。梯子を下ってもまた少しロープや鎖場が続いて、最後の馬の背上に出る。
慎重に下りにかかるが、馬の背の細いやせ尾根の両側に張られたロープや鎖を支える支柱は、揺れ動いて心もとないが、何とかザイルの確保なしに全員が通過した！
（何人か登るパーティーを待たしてしまったが……）
馬の背を過ぎれば、黒滝山不動寺と上底瀬分岐はすぐで、ここから古刹・黒滝山不動寺に下り、参拝してから開山堂下で昼食とした。

鐘楼、奥は稲含山

山門

山門の大きな木魚

不動堂

弁財天が祀られた天女窟

徳川家とゆかりの深い開山堂

黒滝不動明王像

黒滝山不動寺は山岳信仰霊場と千余年の歴史を重ねる上州の奥ノ院とも称される古刹で、本尊は行基作と伝えられる不動明王と釈迦如来（釈迦三尊仏）、高台にある鐘楼、山門、不動堂、大雄宝殿、黒瀧泉そして徳川家ともゆかりのある開山堂や参道にある大スギ等、見所も多く関東各地から訪ねて来る参拝客も多いらしく、山深く紅葉で色づいた山々と岩壁に囲まれた深山幽谷な荘厳で趣のある景色を楽しまさせて貰いました。

少し遅い昼食の後は、予定通りに先の分岐に戻り、上底瀬に向けて下山。
下りは広い登山道から、やがて広い斜面の樹木が皆伐され工事中の「黒滝～六車線林道」の現場を通りここから、舗装された車道を上底瀬の山村風情や畑上に峻立する岩壁を見上げながら下山し、上底瀬の黒滝山登山口に到着し、バスの待つ駐車場には５分ほどで着いた。

こうして心配された岩稜歩きも無事に下山出来て、皆んなに楽しかったと言われると疲れも吹っ飛ぶから不思議だ。

帰りのバス内では、用意されたミカンと缶ビールを配りまず乾杯、下仁田でコンビニと道の駅に立ち寄り、飲み物や野菜等を買い足して、帰りのバスはいつもの通り走る宴会場に早変わり！
参加者からの感想を聞いたり、山の歌を歌いながら南浦和駅には予定通り到着。三郷駅には１９時前に到着しました。
（南浦和駅で下山した方々は、最初　２次会無しという事だったのですが、結果は２次会でまたまた飲んで、帰りはいつもの通り遅くなってしまいました。
参加された皆さん！　楽しい一日をすごさせていただきました。ありがとうございます。

ブロック事務局　　澤藤　俊昭

大雄宝殿(本堂)横の広場での遅い昼食

黒滝泉　不動明王

五老峰・観音岩を望む

大雄宝殿(本堂)横の広場　　山門で

県指定　大杉　　鐘楼で鐘を撞く

昼食を終えて　開山堂したの階段での集合写真撮影

日東岩、月西岩

五老峰に日が沈む

峠の分岐から上底瀬へ下る

峠道はいきなり林道工事中の中へ

上底瀬へ

畑地上には岩峰が

駐車場に到着

【参加記】　　紫翠山岳会　　長谷　真貴子

下底瀬からの鷹ノ巣岩

「気持ち良い秋晴れの下、黒滝山でのハイキング」ですが、ハイキングと言って良いのか？！エライこっちゃ！という様なコースでした。

上底瀬の九十九谷登山口からすぐに急登！それを粛々と登り、明るい尾根上の分岐に突き上げて、右に数分で鷹ノ巣山へ登頂。
下から見ると絶壁に囲まれ切れ落ちている鷹ノ巣山の山頂は尾根上の小さな狭いピークで、山頂標識板があるだけでした。
鷹ノ巣山から観音岩へ…。途中、大きな岩の上をトラバースしますが、片側が切れ落ちているので、物凄い高度感！(巻道もあったので、高度感が苦手な方はそちらに行きました)
また、真下には上底瀬集落や九十九谷が一望できます。これは一見の価値有り！1000 メートル無い標高で、こういった谷が連なる景色は、初めて見ました。
岩尾根を登り詰めた九十九谷分岐からは、観音岩山頂によじ登りました。展望は最高です。班ごとに写真撮影しました。
観音岩から黒滝山不動寺へ…。ここが、今回一番の難所でした。
梯子があり、鎖場は岩のトラバース！　急坂を降りたら、また梯子！　梯子の取り掛かりが岩に上がってからなので、安全のためにザイルを張って貰い、セルフビレイをしてから、梯子を下ります。
梯子を下りたと思ったらやせ尾根の馬の背で、両側切れ落ちた岩の上を歩く…！緊張の連続です！
その後は、峠道をのんびりと歩いて、黒滝山不動寺へ到着。
ここで、お昼休憩しました。お参りをし、(私は御朱印をいただきました)トイレをお借りして、30 分程度の休憩。一番奥の広場から開山堂への階段を利用し、全員での写真撮影も出来ました。
黒滝山不動寺からの下山は、馬の背分岐の峠まで登り返し、林道をのんびり歩き、途中の農家さんの豚さんを見たり、皆、和気あいあいと上底瀬まで下山しました。林道は少し土砂崩れになっていました。

変化に富んだ、楽しいコースでした！また行きたい山の一つになりました。
参加されました皆様、お疲れ様でした。ザイルを張って頂いた「わらび山の会」の伊藤さん、榎本さん、ありがとうございました。中部ブロックからも３名参加していただき、ありがとうございました。
皆様のおかげで、楽しく安全な交流バスハイキングになりました。ありがとうございました。

三郷・山中氏も　　名調子のブロック長　　中部・高橋・瀬下氏　　わらび山の会

三郷山の会　　わらび・榎本夫妻　　近藤・高野氏　　開山堂の石灯篭　　観音岩山頂の観音様

【コースタイム】

三郷駅北口＝＝南浦和駅西口＝＝上里 SA＝＝下仁田 IC＝＝六車＝＝＝下底瀬登山口……
6:10　6:45～7:00　8:00～8:15　9:00　9:15　9:30～45
…鷹巣山分岐…鷹巣山…鷹巣山分岐……九十九谷分岐……観音岩……分岐……見晴台……
10:15　10:20　10:30　11:00～10　11:20～30　11:40～45　11:50
……馬の背渡り……峠……黒滝不動寺……峠……上底瀬……駐車場＝＝(コンビニ)＝＝＝
12:20　12:30～40　12:45～13:40　13:50　14:10　14:20～45　15:05～15
＝＝下仁田道の駅＝＝下仁田 IC＝＝＝上里 SA＝＝＝嵐山 PA＝＝南浦和駅西口＝＝三郷駅北口
15:20～35　15:40　16:05～20　16:55～17:10　18:30　19:00　着

＊バス手配　安行レンタバス　☎ 048-285-7977　FAX 048-285-2201
25 人乗りマイクロ中型バス　観光仕様　75,000＋7,500＝82,500

【会計報告】

収　入	会費　5,000 円×21	105,000	収入合計	105,817 円
	ブロック行事残金	817		
支　出	バス代	82,500	支出合計	104,157 円
	高速料金	10,180		
	乗務員謝礼	3,000		
	飲み物、果物	8,477　ビール、ワイン、みかん、他		
	雑費	0		
			差し引き残	1,660 円

【反省、他】

・今年は６月の会議で予定日を決定し、９月に場所を決定して中型バスで手配した。
・予定していたバス会社が満杯で予約取れず難儀したが、どうにか予算内でバスを確保出来た。
・他の行事や山行計画等で参加者が意外に少なく、それでもどうにか最後には定員近くの 20 名を超え、予算的にはクリア。
・コース的には、九十九谷岩壁や鷹巣山の絶壁を眺めながらの岩尾根の登りや、五老峰の観音岩から狭い山稜と鉄ハシゴやロープが張られた馬の背の急な岩場の下降もあり、展望も良くスリルと変化のあるハイキングが楽しめた。
・五老峰・観音岩には狭いが観音像と石仏等が奉納され、妙義・浅間山、見慣れた西上州の山々等の 360 度の大展望が得られた。全員が登れなかったのが残念です。
・バス内での交流ではいつもながら飲み物等を用意し、楽しく過ごせた。